

第3回定例会を開催 ～8月28日から9月21日まで～

本定例会では、決算認定、条例関係、補正予算などの議案18件、陳情1件及び発議4件を審議しました。本定例会における審議結果は、11ページをご覧ください。また、15人が一般質問を行っています(4～11ページ)。



根知山寺の延年
「稚見行列」(9月1日)

議会の動き

7月

- 5日 大町・糸魚川二市議会議員連絡協議会
全国市議会議長会地方財政委員会
(東京都)
- 11日 総務文教常任委員会
- 13日 新潟県阿賀野市議会視察来市

8月

- 3日 長野県飯山市議会視察来市
- 4日 上越三市議会議長会(上越市)
- 8日 糸魚川市・小谷村・白馬村議会議員
連絡協議会
- 21日 議会運営委員会
- 28日 本会議(初日)
- 31日 議会運営委員会

9月

- 1日 本会議(一般質問)(4日、5日)
- 7日 総務文教常任委員会
- 8日 建設産業常任委員会
- 11日 市民厚生常任委員会
- 12日 決算審査特別委員会(13日、14日)
- 15日 総務文教常任委員会
- 20日 議会運営委員会
- 21日 本会議(最終日)

目次	Contents
委員会報告	2～3 P
一般質問	4～11 P
議案の審議結果	11 P
次回定例会日程	12 P

常任委員会

市の事務に関する調査及び議案・請願等の審査を行うための常設の委員会です。

本会議で付託された議案等の案件について、3つの常任委員会で審査しました。各常任委員会の審査件数や所管事項調査の項目、主な質疑の内容（本定例会最終日の委員長報告から抜粋）は次のとおりです。

総務文教常任委員会

9月7日及び15日に条例の制定3件、補正予算1件、陳情1件を審査し、「普通交付税の算定結果について」「財政健全化判断比率について」「令和4年度いじめ・不登校の状況について」「いじめ防止基本方針等の改定について」「第3期子ども一貫教育基本計画の策定について」「（仮称）駅北子育て支援複合施設について」の所管事項調査を行いました。

○第3期子ども一貫教育基本計画の策定について〈所管事項調査〉

質疑 市内中学生の平均の偏差値が50を割っていることへの対応は。

答弁 家庭学習量が少ないこと、英語の学力の低下等が明らかになっている。学力向上を図る会議で情報を共有し、また、英語教員の研修会を設けるなど、授業と家庭学習の両面で改善していきたい。

建設産業常任委員会

9月8日に補正予算1件、市道の認定1件の審査を行いました。

○電子地域通貨普及促進事業（物価高騰対策）〈一般会計補正予算〉

質疑 電子通貨を苦手を感じる高齢者も多いと思うが、高齢者向けの説明会などは予定しているか。

答弁 マイナンバーカードのポイント付与などにより、キャッシュレスに慣れた方も増えてきているが、説明を丁寧に行うとともに、例えば会合等で要望があれば積極的に説明に出向きたいと考えている。

市民厚生常任委員会

9月11日に条例の制定1件、補正予算2件を審査し、「第2次自殺対策計画案について」「第3期保健事業実施計画案及び第4期特定健康診査等実施計画案について」の所管事項調査を行いました。

○新型コロナウイルスワクチン接種事業〈一般会計補正予算〉

質疑 新型コロナウイルスワクチンの「令和5年秋開始接種」の対象人数、使用ワクチンについて伺う。

答弁 対象者は「令和4年秋開始接種」と同じで、約2万5,000人を見込んでいる。オミクロン株XBB1.5対応の1価ワクチンを用いる予定で、開始時期を10月2日とする予定で準備している。

委員会協議会

常任委員会の所管に係る事項その他問題について協議する事実上の会議です。

■ 総務文教常任委員会

8月17日

- ・TUMUGUプロジェクトについて
- ・並木学院高等学校KCP学習センターについて

■ 建設産業常任委員会

7月31日

- ・多様な働き方推進事業について

■ 市民厚生常任委員会

7月26日

- ・上越圏域における地域医療構想について

決算審査特別委員会

令和4年度 各会計決算を認定及び可決

本定例会初日に決算審査特別委員会（議長及び議会選出の監査委員を除く16人の議員で構成）を設置し、9月12日から14日までの3日間審査を行いました。令和4年度の一般会計、6件の特別会計及び4件の企業会計の決算について、全て原案どおり認定及び可決しました。

審査における主な内容（本定例会最終日の委員長報告から抜粋）は次のとおりです。



決算審査特別委員会の様子（9月12日）



古畑 浩一
委員長



近藤 新二
副委員長

○柵口温泉権現荘管理運営事業について

権現荘について、「現在譲渡先を募集中であり、今後手続を進めていきたい」との答弁があったが、譲渡に至るまでの総括が必要だとの意見があった。このため、権現荘の管理運営について、これまでの経過の責任を明確にし、施設所有者としての見解、また、第三セクター株式会社能生町観光物産センターの50%株主としての見解を、議会に対して報告することを求めた。

閉会中の所管事項調査

常任委員会が定例会の会期以外に行う調査です。

■ 総務文教常任委員会

7月11日

- ◎（仮称）駅北子育て支援複合施設について
- ◎ 妊産婦支援について

議会運営委員会

議会運営をスムーズに進めるために、議会全般にわたる事項について協議・調整する委員会です。

8月21日

- ◎ 第3回市議会定例会の会期及び日程について
- ◎ 請願・陳情の付託について
- ◎ 委員長報告について
- ◎ 決算審査について
- ◎ 令和4年度議会費の決算について
- ◎ 議会運営について

8月31日

- ◎ 議会運営について

9月20日

- ◎ 委員長報告について
- ◎ 議員発議について
- ◎ 議員派遣について
- ◎ 閉会中の継続調査の申出について
- ◎ 12月定例会の会期及び日程（予定）について
- ◎ 議会運営について

大町市、小谷村、白馬村議会との連絡協議会

7月5日に大町・糸魚川二市議会議員連絡協議会、8月8日に糸魚川市・小谷村・白馬村議会議員連絡協議会を当市で開催し、研修会や現地視察を行いました。

■ 7月5日

大町・糸魚川二市議会議員連絡協議会



- ・「地域高規格道路松本糸魚川連絡道路の新潟県内区間について」及び市内工事箇所の現地視察
- ・「ヒスイと神話で結ぶ塩の道」（ヒスイの県の石指定等について）

■ 8月8日

糸魚川市・小谷村・白馬村議会議員連絡協議会



- ・「姫川港の概要について」及び姫川港開港50周年記念事業（練習帆船「日本丸」）視察

中村 実 議員



問 シートゥーサミット2023について

質問

- (1) 7月16日、市内で開催された「糸魚川・上越・妙高シートゥーサミット2023」には、70組113人が挑戦し、無事に終了した。この環境スポーツイベントは次回で3回目となり、3市の持ち回りを終えることとなるが、その後の開催について伺う。
- (2) 当市だけのシートゥーサミットのような環境スポーツイベントの開催はいかがか。

市長答弁

- (1) このイベントは県と3市が連携して取り組んでおり、来年度の開催については、規模も含めて関係者と調整を始めたところである。また、令和7年度以降の開催は、今後関係機関と協議を行う。
- (2) シートゥーサミットは、スポーツを通して地域の環境を考える良い機会と捉えており、今後検討したいと考えている。

問 市内の残土処理状況について

質問

- (1) 松本糸魚川連絡道路・東バイパス・親不知道路の残土処理の適地はあるのか。
- (2) 発注先の残土処分場の安全性について調査をしているのか。
- (3) 掘削土砂の再利用は考えていないのか。

市長答弁

- (1) 平地の少ない当市においては、適地が限られ、課題であると考えている。
- (2) 地滑り防止区域など、土地利用に制限がある場合は調査を行っている。
- (3) 開発事業での盛土や整地等に使用するほか、骨材などにも利用されることもある。



松本糸魚川連絡道路・今井地区西谷内地区内の事業用地の様子
(7月5日 大町・糸魚川二市議会議員連絡協議会現地視察)

和泉 克彦 議員



問 地域公共交通の現状と課題、地域観光振興について

質問

- (1) 来春に控えた北陸新幹線敦賀延伸に向け、当市としての新幹線利用促進の現状と今後の課題について伺う。
- (2) 8月19日～21日の3日間にわたり、大糸線ファンミーティングが開催されたが、このイベントの様子や結果を、大糸線存続に向けてどのように捉えているか伺う。

市長答弁

- (1) 敦賀延伸に関連するPRイベントに参加するなど、当市への誘客活動を行っているところであり、今後も糸魚川駅や大糸線を利用していただくため、白馬バレーとの更なる連携による魅力の発信が必要であると考えている。
- (2) 講演会やミーティングでの提案を沿線自治体やJR等と共有し、更なる活性化につなげていきたい。

問 生涯現役社会に向けた高齢福祉施策について

質問

- (1) 当市における65歳以上の方の就業状況は。
- (2) シニア層の就労ニーズが高い業種、また、企業側からのニーズについて伺う。
- (3) 希望するシニア層の短期派遣など、企業とシニア層のマッチングを図る制度を開設する考えはないか。
- (4) シニア層の新しいスキルの習得を支援する事業について伺う。
- (5) 介護事業所でシニア層の就労・社会参加活動が可能となるような取組や啓発活動等を進めていく必要はないか。

市長答弁

- (1) 就業率は24.3%となっている。
- (2) 運搬・清掃等、サービス、事務、輸送・機械運転等の業種が上位となっている。また、一定の就職実績が見られることから、企業側のニーズはあるものと捉えている。
- (3) 糸魚川商工会議所でシニア人材のシェア事業を検討しているが、現状では、企業側のニーズや、人材派遣に関する法律等の課題があると聞いている。
- (4) 市の資格試験受験料補助制度や、ハローワークが実施している公共職業訓練等は、全ての働こうとする方が対象となっている。
- (5) 介護現場において補助的な業務を高齢者が担う事例もあり、今後も促進していきたい。

伊藤 麗

議員



問 第3次総合計画 2つの重点課題について

質問

- (1) 人口減少対策プロジェクトの来年度に向けての方向性について伺う。
- (2) 人口減少対策と住み続けたいなるまちづくりに通じる取組や施策について伺う。
- (3) 市として、今後、特に力を入れる分野について伺う。

市長答弁

- (1) Uターン促進による担い手確保、若者の出会いや交流のサポート、郷土愛の醸成とキャリア教育の推進を検討している。
- (2) 健康づくりの推進、医療体制の維持、地域で支え合う福祉の推進、子供を産み育てやすい環境の整備、活力ある産業の振興、自主自立の市民活動の推進、安全・安心な市民生活といった施策を展開している。
- (3) 持続可能な糸魚川に向け、インフラや社会機能の維持に向けた取組、25歳から34歳までの人口構造を改善していくための若者の定住、Uターンの促進を図っていく。

問 学び方の選択肢について

質問

- (1) 学ぶ場所、学ぶことの選択肢が増えることは、いじめや不登校児童の減少につながるものと考えているが、市内での不登校特例校及び小規模特認校の設置について、実現可能性はどの程度か、検討状況について伺う。
- (2) 「フリースクール等利用支援補助金」の制度を創設する考えはあるか。

市長答弁

- (1) 不登校特例校や小規模特認校について、今後も調査や情報収集を継続するとともに、検討委員会を立ち上げ、課題解決に向けて進めていく。
- (2) フリースクール等へ通う方などへの補助金の必要性等について検討を行う。

保坂 悟

議員



問 行政サービスの拡充について

質問

- (1) 介護保険料の還付について、還付金振込申請書の返信用封筒を同封しておくべきと思うが、同封の有無に基準があるのか。
- (2) 带状疱疹ワクチン接種費助成について、国の動きはまだ時間が掛かるようだが、市独自の助成を行う考えはないか。
- (3) Wi-Fi環境の拡充を検討しているか。

市長答弁

- (1) 本人の自主的な申出が必要な書類に対しては、原則として、返信用封筒は同封していない。
- (2) 国の専門機関によりワクチン接種の議論が進められており、引き続き、これらの動向を踏まえながら対応を検討していく。
- (3) 今後、キャンプ場等の屋外施設について整備が必要と考えている。

問 新しい持続可能なまちづくりについて

質問

- (1) 結婚観や働き方の多様化についての周知を行っているか。
- (2) 10歳までの体験格差の解消や体験機会の提供について伺う。
- (3) 障がい者や発達障がいがある方の雇用支援策について伺う。
- (4) 不登校者の社会活動支援策は行われているか。

市長答弁

- (1) 社会の状況に応じて、多様化する価値観や様々な考え方を尊重した周知を検討していく。
- (2) 民間団体等と連携した親子体験学習事業を実施している。
- (3) 希望や特性に応じた就労に結びつくよう関係機関と連携して取り組んでいる。
- (4) 小中学生については糸魚川市教育相談センター、高校生以上は若者サポートセンターで、社会的自立を支援している。

その他の質問項目

- 子育て支援について
- 糸魚川市希少野生動植物保護条例について

利根川 正 議員



問 中山間地域における農業について

質問

- (1) 価格が高い新潟県産米は消費者の節約志向により販売が低迷し、前年の在庫量を上回っている。近年売れているのは価格の安いコシヒカリ以外の品種となっている現状を考えると、こしいぶきや飼料用米への転換を促す必要はないか市の考えを伺う。
- (2) 担い手の確保には、地域おこし協力隊員の確保も重要と考えるが、市の取組について伺う。

市長答弁

- (1) 毎年県から示された配分面積により、主食用米の作付を行っている。また、当市の作付はコシヒカリが大半を占めていることから、今後もJAひすいと連携し、需要に応じた米づくりを促進していきたい。
- (2) 地域おこし協力隊員には、農業だけでなく地域振興も担うことを期待しており、地域住民と密接に交流しながら活動してもらうよう取り組む。

問 認知症と共に生きる地域づくりについて

質問

- (1) 認知症の人が自らの意思によって日常生活や社会生活を営むために、市において整えていかなければならないことについて伺う。
- (2) 市内在住の若年性認知症の方と家族が抱える課題について伺う。
- (3) 市内在住の高齢者の認知症の方と家族が抱える課題について伺う。

市長答弁

- (1) 本人中心のケアマネジメントの実施や、最期まで自分らしく暮らすためにどうしたいかという自己決定のプロセスを支援する体制を整えていかなければならないと考えている。
- (2) 他の病気と間違われやすく、診断に時間を要するため、本人及び家族の心理的な不安感が長期にわたることや、仕事が次第に困難になるなど経済問題が大きな課題と考えている。
- (3) 認知症の進行に伴い、在宅生活が困難になること、また、徘徊等への対応が課題と考えている。

その他の質問項目

○森林環境譲与税について

東野 恭行 議員



問 物価高・エネルギー価格の高騰による糸魚川市の対応について

質問

- (1) 物価高の影響による賃上げは、企業の重要課題であるが、業績が伴わない人件費上昇は経営に深刻な打撃を与えると考える。価格転嫁に向けたサポートや各種税の引下げ、収益力を高めるための投資支援など、即効性のある対策が急務であると考えているが市の考えを伺う。
- (2) 令和3年度から始まった第2次糸魚川市新エネルギービジョンの中で、「市内に多様な新エネルギーの普及を目指すため、幅広いエネルギーの導入に対しての補助制度を検討します」とあるが、進捗と成果について伺う。

市長答弁

- (1) 国や県が各種対策や支援を実施しており、市としても、必要な支援を実施してきているものと考えている。
- (2) 太陽光発電設備や高効率の給湯器等について助成を行うなど、市としても温室効果ガスの削減に貢献しているが、これからも事業者の具体的な動向を把握しながら、対応していく。

問 不登校児童生徒に対する糸魚川市の対応と考え方について

質問

- (1) 不登校児童生徒の「社会的自立」について、市として、現在までどのような対応を行い、今後どのような支援を考えているか。
- (2) 義務教育の課程を終了した不登校の子供たちへの支援をどのように考え、取り組んでいるか。

市長答弁

- (1) 義務教育段階においては、適応指導教室で学校以外の学びの場を確保しており、保護者支援のために「不登校を考える親の会（結の会）」を毎月行っている。今後、これらの取組の充実とともに、関係機関と連携を図りながら、更なる支援策を検討していく。
- (2) 義務教育終了後の若者を対象に、若者サポートセンターを開設しており、悩みごと相談や就労支援、進学支援等を通して、利用者の社会的自立を支援している。

田中 立一

議員



問 農地の渇水について

質問

- (1) 枯れた水稲を始め、生育・品質への影響は。また、ひび割れなど水田の被害状況について伺う。
- (2) 夏野菜や秋まき野菜など園芸作物への影響について伺う。
- (3) 来年以降の農業への影響と対策について伺う。

市長答弁

- (1) 現地確認や聞き取りにより、県やJAひすいと連携して立ち枯れの状況を確認している。品質等への影響としては、高温による米粒の胴割れなどの品質低下を懸念している。水田の被害状況については、水利の厳しい水田で6.2ヘクタールの被害を確認している。
- (2) 品質低下や育成停滞により、出荷時期が遅れるなどの影響が出ている。また、秋野菜については、発芽不良や育成停滞などを懸念している。
- (3) 干ばつによるひび割れ被害により、来年の営農に支障を来すことから、市の補助制度により、被害に遭った農地の復旧支援に取り組んでいく。

問 治山事業について

質問

来海沢治山事業について、5月29日に発生した「No.2谷止工の変状」の原因、設計・施工の検証、復旧工事の状況等について伺う。

市長答弁

豪雨により流れ出た土砂が、谷止工背面に異常堆砂したことにより発生したもので、実施主体である県が検証を行っている。

現在、安全を確保するべく応急対策工事が行われており、本復旧工事は来年度中に完成する予定とされている。

その他の質問項目

- 健康づくりセンター「はびねす」第1期工事入札に関する県単価漏えいについて
- 駅北大火復興市営住宅実施設計業務委託について

近藤 新二

議員



問 食料品アクセス問題について

質問

- (1) 近年、食料品店の減少等に伴い、過疎地域のみならず市街地においても、高齢者を中心に食料品の購入に困難を感じる消費者が増えてきており、食料品の円滑な供給に支障が生じる等の「食料品アクセス問題」が顕在化している。この問題は、買物といった流通上の問題にとどまらず、住民の生活基盤の喪失という地域社会の在り方が問われる社会問題であるとともに、食生活を通じて個人の健康にも影響を及ぼす問題としても認識されているが、市の食料品アクセス問題への取組について伺う。
- (2) 移動販売事業の現状と課題について伺う。

市長答弁

- (1) 市内の商店が減少していることから、山間地を中心に重要な課題と受け止めており、各地区における地域づくりプランに基づく買物ツアーへの活動支援や、移動販売に係る運営支援など、市民の買物の支援について取り組んでいるところである。
- (2) 現在、市内では5事業者6台の移動販売車が運行しているが、事業の採算性と継続性に課題があると捉えている。

問 小学校の夏休みプール開放について

質問

- (1) 夏休みプールの開放状況について伺う。
- (2) 夏休みプール開放中止によるメリット、デメリットについて伺う。
- (3) 学校プール利用マニュアルについて伺う。

市長答弁

- (1) 今年度は、市内13小学校のうち2校がプール開放を実施した。
- (2) メリットとして保護者の監視負担や、プールの維持管理費用が軽減される一方、デメリットとして夏休み中の子供たちの楽しみや、運動の機会が減少することが課題と捉えている。
- (3) プール開放を実施する場合は、PTAと協議して利用マニュアルを作成し、全ての保護者に周知している。

新保 峰孝 議員



問 産婦人科医師確保の取組について

質問

全国的に見て新潟県は医師数が少ないとされ、新潟県地域医療構想はそれを前提に構成されている。当市の位置づけを産婦人科で見た場合、出産対応は上越市の拠点病院とする考え方だと思うが、市はどのように考えているか。

市長答弁

周産期医療を拠点病院に集約する方向であると捉えているが、当市の地理的要因を考えると、地域で出産できる体制の確保は必要であると考えている。

問 地球温暖化の影響について

質問

- (1) 徐々に温暖化が進む状態から急激に進む状態に悪化しているように思うが、当市の一次産業への影響や、市民生活への影響をどのように捉えているか。
- (2) 農業の干ばつ被害と用水の確保について、どのようになっているか。
- (3) 今年の夏はどの世帯も猛暑対策に苦労したと思うが、市としてどのように把握していたか。

市長答弁

- (1) 収穫量や漁獲量の減少等により、一次産業就業者の所得の減少を懸念している。また、供給量の低下に伴う価格の高騰が市民生活に与える影響についても注視している。
- (2) 渇水による立ち枯れ被害を確認しており、多くのほ場において番水、反復利用等による対策を講じている。
- (3) 民生委員や介護事業所と連携して高齢者宅を訪問し、状況確認を行うとともに、熱中症への注意喚起をしたところである。

その他の質問項目

- 新型コロナウイルス感染症の対応について
- にぎわいの拠点施設について

渡辺 栄一 議員



問 糸魚川市男女共同参画推進について

質問

- (1) 目標値はどのようにして算出しているのか。
- (2) 第3次いといがわ男女共同参画プランの進捗管理シートでは、ほとんどの項目で平成27年度の現状値から目標値に達していなかったが、その理由を把握しているか。
- (3) 女性が活躍できる基盤づくりにおいて、雇用等における男女平等の推進や、働き方の見直し、仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）の推進で障害となっているものは何か。
- (4) ハラスメント等を許さない意識啓発を推進させるために、具体的にどのようなことを行っているか。

市長答弁

- (1) 国の成果目標等を参考に、市の現状に合わせて設定している。
- (2) 男女共同参画に対する市民の関心を高めることが必要であると捉えている。
- (3) 男性中心の働き方の見直しを図るために整備された法律の趣旨を踏まえ、今後も推進していく。
- (4) 相談窓口の設置や、セミナーの開催等を行っている。

問 再生エネルギーの活用・推進について

質問

- (1) 当市の豊かな水資源など、地域資源の活用の可能性について伺う。
- (2) 自治体新電力会社を設立し、エネルギーの地産地消の仕組みを構築できるのはいつか。

市長答弁

- (1) 中小水力発電として可能性のある河川が市内に存在していると認識している。
- (2) 電力市場の安定及び電源の確保が必要であり、動向を注視しているが、当面設立の予定はない。

その他の質問項目

- 今夏の異常な高温現象等に伴う対策について
- 糸魚川市デジタル地域通貨について

田原 実 議員



問 糸魚川総合病院の基幹病院としての役割と市民が望む地域医療体制確保への市の責任について

質問

- (1) 7月30日に市が主催した地域医療フォーラムの成果について伺う。
- (2) 市内で出産できないことへの対応について伺う。
- (3) 新潟県の地域医療構想が進むことで糸魚川圏域の医療がダウンサイジングし、市民の医療への不満や不安が増していくことを懸念するが、対応策について伺う。

市長答弁

- (1) 妊産婦を地域で支えていく取組について、参加者に理解を深めていただいたものと捉えている。
- (2) 安心して妊娠・出産を迎えられるよう、妊婦健診などの交通費相当の経済的支援や、出産時交通費・宿泊費助成、妊婦情報事前登録制度などの支援を実施している。
- (3) 救急や人工透析など、当市にとって必要な医療を確実に維持するとともに、分かりやすい情報の周知に努めていく。

問 大糸線の必要性と廃線・存続・発展について

質問

大糸線糸魚川ー南小谷区間を運営するJR西日本と、南小谷より南側の区間を運営するJR東日本との組織の違いから、大糸線の活用が図られないとの話をずっと聞かされているが、何が問題なのか。そのことが解決に向かわないと、沿線の観光連携を進めようとしても利用者が大きく増えることはないように思う。沿線の首長はどのような認識を持って行動しているのか。

市長答弁

JR両社が連携して、大糸線の活性化に取り組めるよう、引き続き、新潟・長野両県や沿線自治体と一体となって要望していく。

その他の質問項目

○駅北子育て支援複合施設基本計画の問題点と市民合意について (2)

阿部 裕和 議員



問 デジタル地域通貨「翠ペイ」について

質問

- (1) 翠ペイ導入のメリット、市内における経済効果について伺う。
- (2) 翠ペイの普及には、使用可能な加盟店を増やすことが肝要であると考えるが、加盟店を増やすための施策について伺う。
- (3) 健康づくりやイベントなど、市が指定した事業への参加者に行政ポイントを付与する考えはないか。
- (4) 「プレミアム商品券」や「市内共通商品券」など、紙ベースの地域通貨の今後の発行について考えを伺う。
- (5) 高齢者が気軽に使用できる仕組みについて伺う。

市長答弁

- (1) 地域内消費やデジタル化によるキャッシュレスの促進により、地域内経済が活性化することを期待している。
- (2) 普及促進キャンペーンのほか、行政ポイントの付与や加盟店への決済端末等の導入支援を予定している。
- (3) 市民の動機づけにつながるよう、様々な施策において、行政ポイントの付与を検討している。
- (4) 基本的にデジタル地域通貨に移行するものと考えている。
- (5) スマートフォンのアプリケーションのほか、カードタイプのものも準備しており、多くの方に利用いただきたいと考えている。

問 「子育てに優しい糸魚川」の実現に向けた取組について

質問

- (1) 市内で「ハッピー・パートナー企業登録制度」及び「パパ・ママ子育て応援プラス認定」に参画している企業は何社あるか。また、市としてもこれらを積極的に周知し、展開していく必要があると考えるが、市の所見を伺う。
- (2) 市の様々な施策の中に「子育て応援」の観点をプラスし、政策に反映していく考えはないか。

市長答弁

- (1) ハッピー・パートナー企業として登録されている企業は8月末現在で30社あり、そのうちパパ・ママ子育て応援プラスに認定されている企業は4社となっている。市として、登録企業のメリットを含め、引き続き制度の周知を図っていく。
- (2) 子育て支援は、市としても力を入れて取り組んでおり、地域や社会においても、子育てを応援していくことは重要であると考えている。

田原 洋子
議員



問 公営住宅について

質問

- (1) 市営住宅と県営住宅の入居率は。
- (2) 入居率の高い住宅と低い住宅について、その要因は何か。
- (3) 入居率の向上を図る施策は検討しているか。
- (4) 世帯所得月額と家賃の見直しは検討しているか。
- (5) 市営住宅の統廃合や民間譲渡について検討を行っているか。

市長答弁

- (1) 令和5年3月末現在で、市営住宅の入居率は約69%、県営住宅の入居率は約73%である。
- (2) 公営住宅の入居率は立地条件が大きく影響しており、買物や通院に便利な住宅は、ほぼ空きがない状況で、反面、市街地から離れている住宅は入居率が低い傾向にある。
- (3) 社会情勢の変化に伴い、入居希望者のニーズに合わなくなっている面もあるため、今後の公営住宅の在り方について検討している。
- (4) 家賃の算定方法は法律で定められており、所得に応じて段階的に決定している。
- (5) 入居者がなくなった住宅は、除却や民間譲渡を進めていく。

問 高圧水銀ランプの製造終了とLED切り替えについて

質問

- (1) 市の施設で使われている高圧水銀ランプの箇所数とLED化率について伺う。
- (2) 高圧水銀ランプを全てLEDに交換する場合の費用、年数について伺う。また、電気料金はどの程度下がるか試算しているか。

市長答弁

- (1) 高圧水銀ランプを使用している道路照明灯は、295灯あり、LED化率は約48%となっている。スポーツ施設は1施設あり、LED化率は約3%となっている。
- (2) 道路照明灯を例にした場合、交換費用は約6,700万円。期間は3年程度を要し、年間約400万円の削減になると試算している。

その他の質問項目

○羅漢和尚について

宮島 宏
議員



問 市民の安全の確保 身近にある毒を持つ植物について

質問

キョウチクトウ、イヌサフランなど毒を持つ植物は身近にたくさんある。また、普通に食べている野菜であっても、その種子、生の状態のもの、未熟なもの、過熟なものに毒があることが知られている。このような身近にある危険な植物の存在を市民に周知する必要はないか。

市長答弁

保健所で周知しているが、市としても、機会を捉えて周知していく。

問 石のまち糸魚川で石を安全に楽しむために

質問

- (1) 石の粉末を吸引したことによる健康被害は、じん肺として知られている。石の切断や研磨を行う際に石の粉末が発生するが、これを吸引しないよう市民に注意喚起しているか。
- (2) 糸魚川中学校には研磨クラブがあり、生徒が石の加工を行っているが、作業時は防じんマスク・安全保護メガネを着用しているか。
- (3) フォッサマグナミュージアムの化石の谷で、素足にサンダル履きの採集者が若干いた。化石の谷には鋭利に割れた石灰岩片があるので大変危険である。サンダル履きの場合、採集は禁止すべきではないか。

市長答弁

- (1) 石の切断や研磨などによって健康被害が生じることがないように周知していく。
- (2) 防塵マスク及び保護メガネを着用して、切削や研磨などを行っている。
- (3) 化石の谷を安全に利用できるように、利用者に協力を求めているが、引き続き周知に努めていく。



化石の谷（フォッサマグナミュージアム敷地内）

古畑 浩一



議員



問 人口減対策と少子化対策について、糸魚川の未来を考え財政面も考慮し、総合的に持続可能な街づくりに取り組むべきではないか。

質問

- (1) 人口減問題をどのように分析しているか。
- (2) 保育士不足の対応は。また、保育園の民営化にも積極的に取り組むべきではないか。
- (3) 未満児保育の無償化に取り組むべきではないか。
- (4) 駅北子育て支援複合施設について、パブリックコメントや市民の声も厳しいものが多くあるが、どのように対処していくのか。

市長答弁

- (1) 住民基本台帳では、昨年度における出生・死亡による自然動態で674人、転入・転出による社会動態で120人減少している。年齢別では、合併した平成17年と令和5年で比較すると、25歳から34歳までの男女ともに4割以上減少している。
- (2) 保育人材の確保や処遇改善等は必要と考えており、保育の質の向上にも取り組んでいく。また、今年度から保育の在り方について検討を進めており、民営化も含め、方向性を示していく。
- (3) これまで市独自の軽減策を行っているが、今後、国の動向を注視していく。
- (4) 様々な意見があり、引き続き取組を進める中で、市民に理解されるよう努めていく。

問 ジオパル・鉄道ジオラマの運営について

質問

新幹線駅開業と共にオープンしたジオステーション・ジオパル内に設置された鉄道ジオラマの管理運営、メンテナンスについて伺う。

市長答弁

施設管理と運営は糸魚川市観光協会に委託しておりジオラマの定期メンテナンスや大規模修繕については、ジオラマ制作者に委託し、施設の維持を行っている。

その他の質問項目

○いじめ・不登校の現状と対策について

議案の審議結果

第3回定例会
(8月28日～9月21日)

番号等	件名	結果
議案第68号	令和4年度糸魚川市一般会計歳入歳出決算認定について	認定
議案第69号	令和4年度糸魚川市国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算認定について	認定
議案第70号	令和4年度糸魚川市国民健康保険診療所特別会計歳入歳出決算認定について	認定
議案第71号	令和4年度糸魚川市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について	認定
議案第72号	令和4年度糸魚川市介護保険事業特別会計歳入歳出決算認定について	認定
議案第73号	令和4年度糸魚川市有線テレビ事業特別会計歳入歳出決算認定について	認定
議案第74号	令和4年度糸魚川市集合支払特別会計歳入歳出決算認定について	認定
議案第75号	令和4年度糸魚川市ガス事業会計決算認定及び利益の処分について	認定及び可決
議案第76号	令和4年度糸魚川市水道事業会計決算認定及び利益の処分について	認定及び可決
議案第77号	令和4年度糸魚川市簡易水道事業会計決算認定について	認定
議案第78号	令和4年度糸魚川市下水道事業会計決算認定及び利益の処分について	認定及び可決
議案第79号	糸魚川市立保育所条例の一部を改正する条例の制定について	可決
議案第80号	糸魚川市博物館条例の一部を改正する条例の制定について	可決
議案第81号	糸魚川市火災予防条例の一部を改正する条例の制定について	可決
議案第82号	市道の認定について	可決
議案第83号	糸魚川市印鑑条例の一部を改正する条例の制定について	可決
議案第84号	令和5年度糸魚川市一般会計補正予算(第4号)	可決
議案第85号	令和5年度糸魚川市後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)	可決
陳情第4号	「私学助成の増額を求める意見書」に関する陳情	採択し
発議第2号	私立高校の公費(私学助成)増額を求める意見書(国宛て)	可決
発議第3号	私立高校の公費(私学助成)増額を求める意見書(県宛て)	可決
発議第4号	带状疱疹ワクチンへの助成並びに定期接種化を求める意見書	可決
発議第5号	北朝鮮による日本人拉致問題の早期解決を求める意見書	可決

キャリアフェスティバルに出展



10月6日に市内の中学3年生を対象とした「キャリアフェスティバルいといがわ2023」が開催され、市議会のブースを出展しました。

議会を傍聴 しませんか

12月 市議会定例会の会期及び日程（予定）

日	月	火	水	木	金	土
11/26	27 本会議	28	29	30 議会運営委員会	12/1 本会議 一般質問	2
3	4	5	6	7 建設産業 常任委員会	8 市民厚生 常任委員会	9
10	11 総務文教 常任委員会	12	13 議会運営 委員会	14 本会議 最終日	15	16

- 本会議は6階議場、委員会は6階第二委員会室で午前10時から開始します。
- 本会議（議場）の傍聴席入口は7階です。市役所正面玄関に入って左側のエレベーターをご利用ください。
- 本会議、委員会いずれも各入口に受付簿がありますので、住所と氏名を記入して入場してください。



議場の傍聴席



第二委員会室の傍聴席



受付簿

※12月定例会で議題とする請願・陳情は、11月17日（金）までに提出されたものになります。詳しくは議会事務局へお問合せください。

インターネットで市議会の模様を配信しています。

市議会の生中継映像（本会議）と録画映像（本会議・予算審査特別委員会）を配信しています。



【生中継映像】



【録画映像】



←スマートフォンか
タブレットで読み取ってください。

